

獅子舞あり、舞楽あり、ワインナワルツあり 横浜のニューイヤーと言えば、やっぱりこれ!!



来場者を熱烈に歓迎する大迫力の獅子舞、優雅な和の美を体現する舞楽(舞い付きの雅楽)に、そして軽やかで楽しく、どこまでも気品溢れる本家本物のワインナワルツ…横浜ニューイヤーの定番!横浜みなとみらいホールオープニング・コンサートがこの初春も開催されます!

“ワルツ王”J.シュトラウスⅡ世が創設し、シュトラウス一家の「真髓」が聴けるオーケストラとして世界に名を轟かす名門中の名門、ヨハン・シュトラウス管弦楽団と指揮者兼ソロ・ヴァイオリニストのヨハネス・ヴィルトナーによる気品と楽しさ溢れるステージは、他では聴けません。J.シュトラウスⅡ世の生誕200年記念ともなる今回は、「オール・J.シュトラウスⅡ世・プログラム」を携えての登場。まさにワインナワルツ決定版公演と言えるでしょう!



ホール内を所狭しと舞う獅子舞 ※過去の公演より

日本伝統の美を堪能



舞いを伴う雅楽「舞楽」※過去の公演より

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団

Wiener Johann Strauss Orchester

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団は、その前身ヨハン・シュトラウス管弦楽団として、1844年に弱冠19歳の‘ワルツ王’ヨハン・シュトラウスⅡ世により結成され、世界中で愛されるウィーン音楽を生み出した。ワインナワルツを演奏する眞の楽団として現在でもなおその伝統を繼承し、その確固たる地位を確立している。初代音楽監督シュトラウスⅡ世は、「美しく青きドナウ」作曲後、ワルツ、ポルカ、マズルカ、カドリーユなどを携えたツアードで成功をおさめた。楽団は多忙を極めたシュトラウスⅡ世から弟エドゥアルトに引き継がれ、さらにその活躍の場を世界に広げた。

その後、エドゥアルトⅠ世の孫で‘ワルツ王’シュトラウスⅡ世の又甥にあるエドゥアルトⅡ世の時代に、“ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団”と改称し、ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートで有名な名物コンサートマスターのウイリー・ボスコフスキの時代にその名声をさらに高めていった。

そして、ゴールドシュミット、ヴェス、エシュヴェ、ジークハルト、ルードゥナーなどの著名な指揮者を招いて、‘ワルツ王’シュトラウス一族が築いたワインナワルツの伝統を今に受け継ぎ、聴衆を魅了し続けている。

圧巻の中華獅子舞

Program

[オール・J.シュトラウスⅡ世 プログラム]

喜歌劇「ジプシー男爵」序曲

ポルカ・シュネル「心うきうき」

取り壊しポルカ

ワルツ「加速度円舞曲」

アンネン・ポルカ

ワルツ「ウィーンの森の物語」

・ · · · ·

喜歌劇「ヴェネツィアの一夜」序曲

チクタク・ポルカ

仮面舞踏会カドリーユ

オペラ「騎士パズマン」よりチャルダッシュ

ポルカ・フランセーズ「クラップフェンの森で」

ワルツ「美しく青きドナウ」

※曲目、曲順は変更になる場合があります

横浜みなとみらいホール ウェブフレンズ のご案内

横浜みなとみらいホールでのコンサートをさらにお楽しみいただくための特典プログラム。ホールの最新情報やお得な情報などをメールマガジンでお届けします。ご登録はこちら→



ヨハネス・ヴィルトナー (指揮&ヴァイオリン)

Johannes Wildner, Conductor & Violin

元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のヴァイオリニスト。国立コシツェ・フィルハーモニー管弦楽団、ブラハ国立歌劇場、ライプツィヒ歌劇場などの首席指揮者を経て、1997～2007年ノイエ・フィルハーモニー・ヴェストファーレンの総合音楽監督を務め、2010～2014年にはBBCコンサート・オーケストラの首席客演指揮者も務めた。また2014年からはウィーン郊外のガルス城で行われる夏恒例のオペラ・フェスティバル「ガルス野外オペラ」の総監督を務めている。

これまで、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、バイエルン放送交響楽団、北ドイツ放送交響楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン交響楽団などを指揮し、2008年よりウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団への客演を始め、ウィーン楽友協会ホールなどで公演を行い、好評を博している。100枚以上のCDやDVDをリリースする一方、オペラの指揮にも力を注ぎ、アレーナ・ディ・ヴェローナ「カルメン」、新国立劇場「こうもり」など各地で大成功をおさめ、近年は、毎年本楽団と共に来日し、指揮者としても各地で名聲を高めている。